

議会だより



9月の
定例会

② 令和3年度決算
総額265億円の成果を認定!

⑩ ズバリ!! 町政を問う
2議員が質問

⑥ こんなことが決まりました
9月定例会

⑱ 全員協議会報告
多核種除去設備等処理水に
関する政府の取組について確認!!



富岡町議会の
ホームページはこちら

秋風を受けながら、全力疾走! / とみおか復興ロードレース大会

令和3年度
決算

総額265 億円の結果を認定!

【一般会計 210億円、特別会計55億円 合計265億円】



【引き続き、適切かつ柔軟な事務処理の継続を】
坂本代表監査委員の審査意見

令和3年度決算は、約265億円の決算規模となっているが、総体的には概ね適切に事務処理が行われたものと判断する。予算編成にあたっては、明確な事業計画に基づく精密な予算見積もりによる予算計上、情勢の変化にともなう更正や追加を適宜行い、安易かつ過大な予算要求は厳に慎むとともに、予算主義の原則を厳守し、適切な予算要求を行い、予算執行にあたっては、引き続き前例に囚われない柔軟な創意工夫により、地方自治法の趣旨である最小の経費で最大の効果をあげるよう努めていただきたい。



令和4年9月定例会は9月13日から15日まで3日間の会期で開催しました。人事案件や条例の一部改正、工事請負契約の変更、令和3年度決算認定、令和4年度補正予算など、21件の議案を慎重に審議し、すべて原案のとおり可決しました。

一般質問では2議員が登壇し、今後直面する課題や町政運営のあり方について問いました。

【共生型サポート拠点整備事業】



R4.3.18 特別養護老人ホーム桜の園 開所
R4.4.9 トータルサポートセンターとみおか 開所

共生型サポート拠点整備事業費 16億8,502万円
全体事業費(概算)19億5,000万円中の令和3年度支出分

【営農再開支援事業】



営農再開支援事業費 2億216万円
(補助金 他)

【道路維持管理事業】



六反田2号線(太田地区) 他

道路維持管理事業費 4億4,315万円
(工事費 他)

【防火防犯パトロール事業】



防火防犯パトロール事業費 1億9,438万円
(委託料 他)

【やな場、ふ化場整備事業】



水産業施設工事費 2億9,256万円
(工事費)

【カントリーエレベーター整備事業】 Pick Up!



R4.9月より受け入れ開始

被災地域農業復興総合支援事業 17億3,847万円
全体事業費(概算)18億8,852万円中の令和3年度支出分

【中小企業等支援事業】



中小企業等支援事業費 2億2,577万円
(補助金・貸付金 他)

【学校給食調理場整備事業】



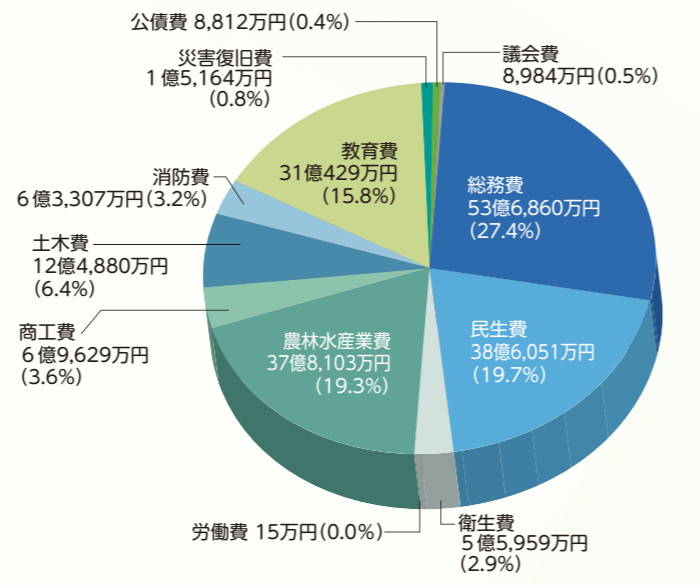
R4.4月より共用開始

学校給食管理事務諸経費 5億9,171万円
(工事費 他)

歳出(支出)の主なもの

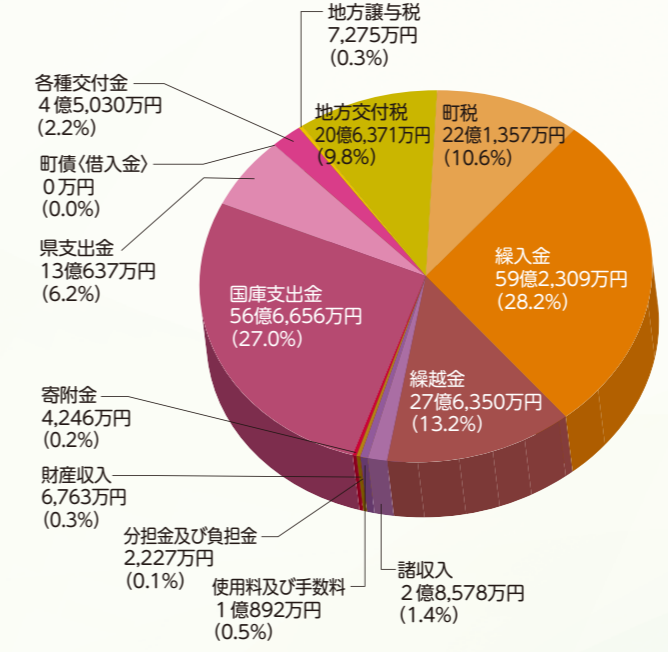
- 総務費（一般的な管理に要する経費、徴税费や選挙費なども含まれる）
..... 53億6,860万円
- 民生費（町民が一定水準の生活と安定した社会生活を送るために必要な経費）
..... 38億6,051万円
 - ・社会福祉費..... 33億3,303万円
 - ・児童福祉費..... 4億1,000万円
 - ・災害救助費..... 1億1,747万円
- 衛生費（町民が健康で衛生的な生活環境を保持するための経費）
..... 5億5,959万円
 - ・保健衛生費..... 3億8,038万円
 - ・清掃費..... 1億5,189万円
 - ・上水道費..... 2,732万円
- 農林水産業費（農林水産業の振興に要する経費）
..... 37億8,103万円
 - ・農業費..... 32億8,683万円
 - ・林業費..... 1億9,589万円
 - ・水産業費..... 2億9,830万円
- 商工費（商工業の振興に要する経費）
..... 6億9,629万円

歳出(支出) 195億8,194万円



- 土木費（道路、公営住宅等の建設、維持管理に要する経費）
..... 12億4,880万円
- 消防費（防犯防火に要する経費）
..... 6億3,307万円
- 教育費（教育に要する経費）
..... 31億429万円
- 公債費（町の借金返済に要する経費）
..... 8,812万円

歳入(収入) 209億8,692万円



- 地方譲与税（国が徴収した自動車重量税などから配分されたお金）
..... 7,275万円
- 各種交付金
..... 4億5,030万円
- 地方交付税（税収不足を補うために国から配分されたお金。財源は所得税や法人税などの国税の一部）
..... 20億6,371万円

歳入(収入)の主なもの

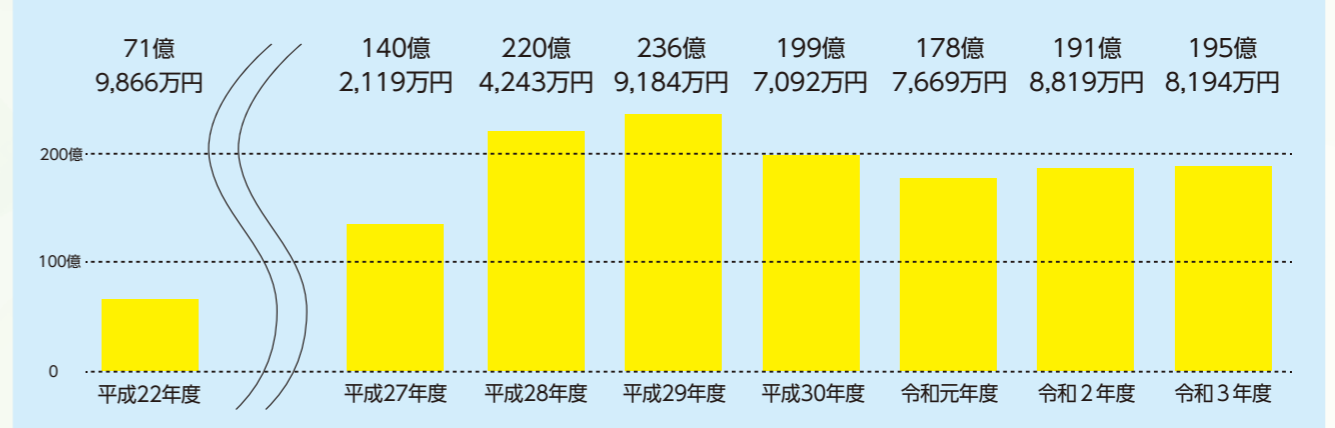
- 町税（皆さんが町に納めた税金）
..... 22億1,357万円
 - ・町民税..... 8億7,866万円
 - ・固定資産税..... 12億3,896万円
 - ・軽自動車税..... 2,337万円
 - ・町たばこ税..... 7,257万円
- 歳入金（収入の不足を補うために、基金(貯金)等から取り崩したお金）
..... 59億2,309万円
 - ・特別会計歳入金..... 3億6,434万円
 - ・基金歳入金..... 55億5,875万円
- 繰越金（前年度から繰り越されたお金）
..... 27億6,350万円
- 諸収入（雑入など、その他の収入）
..... 2億8,578万円
- 使用料及び手数料（住民票などの手数料収入）
..... 1億892万円
- 国庫・県支出金（特定の目的のために国や県から交付されたお金）
..... 69億7,293万円
 - ・国庫支出金..... 56億6,656万円
 - ・県支出金..... 13億637万円

【令和3年度一般会計及び特別会計決算を全会一致で承認】

| 会計区分 | 一般会計 | 特別会計 | 国民健康保険事業 | 公共下水道事業 | 農業集落排水事業 |
|--------|-------------|------------|------------|-----------|-----------|
| 歳入 | 209億8,692万円 | 54億7,046万円 | 25億4,877万円 | 7億5,309万円 | 2億8,834万円 |
| 歳出 | 195億8,194万円 | 51億6,938万円 | 23億5,993万円 | 7億4,227万円 | 2億8,231万円 |
| 歳入歳出比較 | 14億 498万円 | 3億 108万円 | 1億8,884万円 | 1,082万円 | 603万円 |

| 会計区分 | 特別会計 | | | | 合計 |
|--------|------------|------------|-----------|----------|-------------|
| | 曲田土地区画整理事業 | 介護保険事業 | 後期高齢者医療事業 | 介護サービス事業 | |
| 歳入 | 1億5,381万円 | 16億6,346万円 | 5,698万円 | 601万円 | 264億5,738万円 |
| 歳出 | 1億3,524万円 | 15億9,221万円 | 5,192万円 | 550万円 | 247億5,132万円 |
| 歳入歳出比較 | 1,857万円 | 7,125万円 | 506万円 | 51万円 | 17億 606万円 |

【震災前の平成22年度から令和3年度までの一般会計歳出決算の推移】



令和4年第7回定例会で審議した議案とその結果

| 上程議案・概要 | 結果 |
|--|-----------|
| ◆条例の一部改正案件 | |
| 議案第55号 職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について | 全会一致 原案可決 |
| 議案第56号 富岡町議会議員及び富岡町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例について | 全会一致 原案可決 |
| ◆補正予算案件 | |
| 議案第59号 令和4年度富岡町国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号) | 全会一致 原案可決 |
| 議案第60号 令和4年度富岡町公共下水道事業特別会計補正予算(第3号) | 全会一致 原案可決 |
| 議案第61号 令和4年度富岡町農業集落排水事業特別会計補正予算(第3号) | 全会一致 原案可決 |
| 議案第62号 令和4年度富岡町曲田土地区画整理事業特別会計補正予算(第1号) | 全会一致 原案可決 |
| 議案第63号 令和4年度富岡町介護保険事業特別会計補正予算(第1号) | 全会一致 原案可決 |
| 議案第64号 令和4年度富岡町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号) | 全会一致 原案可決 |
| 議案第65号 令和4年度富岡町介護サービス事業特別会計補正予算(第1号) | 全会一致 原案可決 |

※第7回定例会における「人事案件」「工事請負等の変更案件」「令和3年度決算」「一般会計補正予算(第3号)」は別頁に詳細を掲載しております。また、各議案については富岡町ホームページにおいても報告しておりますので、ご参照ください。

人事案件

教育委員会委員に再任

富岡町教育委員会委員の任期満了に伴い、鈴木文子さんの再任を可決しました。

任期は、令和4年10月1日から4年間で。

(9月定例会) 全会一致 原案可決



鈴木 文子さん

固定資産評価審査委員会委員に再任

富岡町固定資産評価審査委員会委員の任期満了に伴い、阿久津守男さんの再任を可決しました。

任期は、令和4年10月1日から3年間で。

(9月定例会) 全会一致 原案可決

こんなことが決まりました



【鈴木文子さんの「いっしょに」(一部抜粋)】

私が初めて教育委員の承認をいただいた半年後に東日本大震災と原子力発電所の事故が起こり、当時千四百数名いた子ども達は、県内外、全国へと散り散りとなりました。

平成30年の4月には富岡校の再開、今年の3月には三春校の閉校、そして4月には新たに富岡小学校・富岡中学校として開校と、震災後の激動の学校の全てに関わらせていただきましたことは、私にとって大変貴重な経験でした。

これからも、富岡の小中学校がより良く発展できますように、精一杯努めさせていただきますと思っています。



工事請負契約の変更

【公共下水道処理区統合接続管渠整備工事】

工期の変更について、可決しました。

(9月定例会) 全会一致 原案可決

【工事請負契約の変更概要】

- 工期
(変更前) 令和5年1月31日
(変更後) 令和5年3月24日
- 変更理由
・社会情勢の著しい変化により、材料調達に不測の期間を要しているため。



蛇谷須地区と富岡地区の下水道処理区を統合するための接続管渠工事(県道小野富岡線)



議員が切り込む!! 質疑応答

一般会計歳入歳出決算

富島森林再生事業において、線量の推移は。(遠藤一善)

産業振興課長

福島森林再生事業は里山再生事業と異なり、環境省による除染のメニューがないため、大きな線量の低減はありません。

問 問伐や伐採後の木材を集積した場所の放射線量についての調査は。また、事業に絡んで放射線低減の対策は。(遠藤一善)

産業振興課長

木材集積箇所の線量については、現地調査を行い報告します。線量低減を図る森林内の土壌の剥ぎ取りは行いませんが、土砂流出防止の木柵の設置を実施しています。

教育総務課長

令和3年度において、三春校は添乗員が確認していました。また、富岡校はジャンボタクシーのため運転手が確認をしています。

掘本典明

問 業務委託の成果確認をしっかりと行うよう要望する。

答 業務委託の内容、性格から評価の仕方が異なりますが、確認と精査をしっかりと進めています。



カントリーエレベーター、さくらの郷を視察

令和4年9月14日、決算認定に伴う現地調査を実施しました。調査実施箇所は、カントリーエレベーターおよび共生サポートセンターさくらの郷です。議員からは、米を受け入れた後の放射線量の測定に関する事、特別養護老人ホームへの入所に関する事や現在の状況などの質問が出されました。

カントリーエレベーター

- 工事費
約18億8,852万円
- 施設運営者
福島さくら農業協同組合
- 施設の概要
敷地面積 4,809.36㎡
穀物貯蔵庫 548.13㎡
籾穀貯蔵庫 60.18㎡
乾燥貯蔵設備、計量出荷設備、
精米設備 等



共生サポートセンター さくらの郷

- 工事費
約19億5,000万円
- 指定管理者
(社福)光美会
- 施設の概要
【桜の園】
敷地面積 約5,500㎡
50床(入所48床、ショートステイ2床)
【トータルサポートセンターとみおか】
敷地面積 3,328.64㎡
介護予防教室、見守り事業 等



一般会計 補正予算

各種事業の精査等による増額

《10億2,366万円を増額補正》

各種事業の精査等による増額計上等により10億2,366万円の増額補正を行い、総額148億9,857万円となりました。補正のあった主な事業は下表のとおりです。

| 事業内容(費目名) | 補正予算額 |
|-------------------------|------------|
| 財政調整基金積立金 | 6億1,319万円増 |
| 住民税非課税世帯原油・物価高騰等対策助成事業費 | 1,340万円増 |
| 東日本大震災救助経費(工事費) | 1,900万円増 |
| 上水道事業費(負担金) | 3億3,439万円増 |
| 環境衛生事業費(補助金等) | 551万円増 |
| 農地等維持修繕事業費(工事費) | 450万円増 |
| 商業拠点施設整備事業費(光熱水費) | 280万円増 |
| 公園整備費(工事費等) | 1,176万円増 |
| 図書館事業費(消耗品費、図書購入費) | 402万円増 |
| 体育施設管理費(委託料) | 1,100万円増 |
| その他 | 409万円増 |



問 防犯灯に枝木がかかっている箇所が見受けられるので、適切な処置を。(宇佐神幸)

答 都市整備課長

随時確認し、枝の伐採等に対応します。また、不点灯箇所については順次LED化を行っています。

問 国際研究教育拠点の候補地決定に際し、審査内容について確認しているか。また、ふくしまイノベーションの均衡ある展開を求めらるべき。(堀本典明)

答 高野副町長

審査経過については確認しています。今後、広域的な連携に向けての方策等が出されると期待しており、国・県との連携を密にしていきたいと思います。

問 解除区域における空き家、空き地などの除草の問題について、民有地のため町が立ち入れないことは承知しているが、手助けできる仕組み作りを。(渡辺三男)

答 竹原副町長

町の復興、住民帰還に繋げるため必要などありますが、個人の土地であることから難しい状況です。今後、どのような協力ができるのかは検討したいと思えます。

問 移住定住の推進について、お試し住宅の利用者へのPRは。(安藤止純)

答 企画課長

印象や問題点を把握することに加え、住まい、教育、仕事の点で、とみおかプラスや学校等にも協力いただきご案内しており、今後も継続します。



高野 匠美 議員

問 民生委員等の避難先や町内での活動は

答 関連団体と連携し活動を展開

問 委員の方が避難する地域で、行政区に係なく活動できるような訪問体制を整えたほうがいいのではないかと。

答 町長 民生委員・児童委員の活動が、より複雑化・高度化していると認識しています。町としては支援を必要とする方を見落とすことなく、保健師・包括支援センター・生活支援相談員などが緊密に連携し積極的に活動を展開しています。

問 民生委員・児童委員は独居老人訪問や児童虐待の早期発見など、地域の見守り役として重要性が増している。制限のある避難先や、町内での活動は。

答 福祉課長 負担なく効果的にやるにあたっては、行政区を超えた活動が良いと考えます。個別ケースによっては昔から知っている地域の方にとの声もあり、その場合は遠方であってもお願いすることがあります。

問 委員が活動しやすい環境づくり、地域住民が相談しやすい環境作りの観点から、活動をきちんと町民に周知すべき。

答 福祉課長 周知する場面が少ないと感じています。広報や案内など、活動の周知の頻度を上げるなど今後も考えていきます。

問 委員の初任者研修の徹底と、その時代に沿った対応などの研修がとて大事と考えるが、町の考えは。



答 福祉課長 今後、先進地の事例などを見て、本町にマッチするかも含めて検討していきます。

答 福祉課長 昨年は新任民生委員研修が中止となっております。当町の場合、本年12月が改選となっておりますので、新たな民生委員には重点的に新任研修などを行うよう努めます。

問 民生委員の負担軽減、なり手不足解消の観点から、オンライン回線の確保されたタブレット端末の貸与等に取り組むことを検討してほしいと考えるが。

問 医療センターの協力が得られる体制を確保し、一歩でも早い行動や判断をして、富岡

答 健康づくり課長 在宅医療、訪問看護を行っているのは、町内では医療センターのみとなっています。町民の現状と町の考えを県に伝えて、貴重な医療インフラですので確保していきたく考えます。

問 在宅医療と介護の一体的な提供の実現に向けて、町の現状と課題は。

答 町長 町を元気ある希望の町へと導く考えは。

答 町長 医療センターは重要な機関であり、連携が必要と考えます。何らかの病院という形で残したい希望を県へ伝えて相談し、努力していきます。



ふたば医療センター

問 町内での在宅医療・介護の現状と課題は

答 ふたば医療センターと連携

問 児童関連業務の一本化を図るべき

答 令和6年4月1日までに環境を整備したい考え

これも質問!!

ズバリ!! 町政を問う



2議員が質問

9月定例会の一般質問に2議員が登壇し、町の対応や考えなどを問いました。この紙面では、質問した順に質疑応答の要点をお知らせします。



1 高野 匠美 議員 11

- 民生委員等の避難先や町内での活動は
- 町内での在宅医療・介護の現状と課題は



2 佐藤 啓憲 議員 12

- コロナ禍における高齢者福祉は
- 社会体育施設等の修繕計画は



山本 育男 町長



岩崎 秀一 教育長

動画配信中!



※QRコードを読み取ると各議員の一般質問動画が見られます。



※山本町長の一般町政報告はこちらから



佐藤 啓憲 議員

問 コロナ禍における高齢者福祉は

答 連携した福祉サービスの提供を

問 今年度、待望の共生サポート施設、特別養護老人ホーム桜の園が開所した。今後更に、人材確保が厳しくコロナ禍によるスタッフの要員不足が懸念されるが、町民が入居を希望する介護施設のスタッフは確保できているのか。

答 町長 町が設置する特別養護老人ホームでは、職員数が十分に確保されています。また、様々な事情により利用が困難となる場合においては、代替え施設や在宅介護サービス利用などを調整し、福祉サービスの提供に支障がないよう関係事業者と連携を図っていきます。



特別養護老人ホーム桜の園

問 町内在住に関わらず、町民を対象とした介護に関するオンラインセミナーを開催しては。

答 福祉課長 オンラインは有効と考えます。今後、十分に検討を重ねていきます。

問 緊急通報システムの利用者は約50名にとどまっているが、利用者数を増やして活用を。

答 福祉課長 再周知を含め、更なるシステムの充実となるよう取り組みます。

問 町民の皆さまから医療費や介護保険料、介護保険サービスの減免措置について期間の継続を求める声が多い。これらの支援策について町の考えを伺いたい。

答 町長 これまで町民の皆さまの声を国に要望してまいりましたが、先の閣議決定により、避難指示の解除から10年間で減免措置を段階的に終了することとなりました。避難指示解除時期によって細分化されたことは、公平性に配慮されたものと考えています。今後、この制度を町民の皆さまにご理解いただけるよう、丁寧に説明していきます。



富岡町武道館

問 社会体育施設等の修繕計画は

答 体育館の耐震補強と人口交流の場所に

問 現在、本町における体育施設の多くは開設から30年以上経過している。また、このところの地震の影響により、総合体育館についてはアリーナの天井が損傷し、利用再開は不透明な状況だが、体育施設等の安全性と修繕計画は。

答 生涯学習課長 天井トップライト部分から雨漏れが度々発生し、調査・改善を試みた経緯があります。再度、調査を実施して改修します。

問 体育館東側エリアの整備について、現在ふれあい農園を計画しているが、バーベキューハウス、体育館わきの公園、最近人気のオートキャンプ場等に整備することで、コストを下げずに交流人口の増加が見込めるゾーンにできると思っています。

答 町長 さまざまな交流の場、子ども達の教育環境づくりの観点からも、グリーンフィールド跡地の利用を、今後どう活かせるか検討していきます。

答 教育長 全ての施設は「富岡町公共施設等総合管理計画」に基づき維持管理を実施しています。なお、総合体育館は今年発生した地震により、柱や梁などを損傷したことから、安全性確保と費用対効果を検討した結果、改修する方針です。今年度内に実施設計を行い、令和6年度の利用再開を目指し改修工事を実施します。

問 武道館は以前から、台風や梅雨の時期は天窓からの雨漏れが酷く使用できない場合があるが、この件を町は確認

全員協議会報告 町の重点事業について

<避難指示解除に向けた対策は>

◆除染解体工事及び中間貯蔵施設への輸送並びに特定廃棄物埋立処分事業の状況について (環境省・内閣府・生活環境課)



外縁側との境界

問 外縁除染のスケジュールは。(堀本典明)

答 環境省 現時点では松ノ前墓地外縁から東に向けて、まとまりをもった地域ごとに順次進めるというところで安全第一を前提に検討しています。

問 準備宿泊が始まっているが、町民からフォロアアップ除染の要望は出ているか。(佐藤啓憲)

答 生活環境課 町へも要望が出ているので、除染するよう環境省と協議し進めています。

答 環境省 現在、線量測定の結果も踏まえてフォロアアップを常に進めています。

◆帰還困難区域の再生に向けた取り組みについて (企画課 他、関係各課)

問 避難指示解除に向けて、住民への説明は誤解のないような表現にすべきと考えるが。(安藤正純)

答 企画課 文言の表現等については今後も精査し、小良ヶ浜地区・深谷地区の皆さまとの意見交換会等において丁寧に説明します。

問 小良ヶ浜地区・深谷地区の方々が望みを持つ町づくりを。(佐藤教宏)

答 町長 今後どのような土地利用ができるかは現在庁内でも検討を続けており、地区の皆さんと相談しながら進めていきたいと考えています。

問 拠点区域内の買い物環境の整備計画は。(遠藤一善)

答 産業振興課 当面は、現在町内で実施している移動販売のエリア拡充を進めていきます。引き続き区域内の買い物環境整備に向け、民間事業者等の誘致に努めると共に、施設整備等の協議を進めていきます。

◆放課後児童クラブ施設整備事業について (教育総務課)

問 パソコンや英会話など、塾のような役割ができる環境、また、図書室のように図書がたくさんある環境が必要と考えるが。(佐藤教宏)

答 教育総務課 体を動かしたい子、学習したい子など様々なお子さんがいますので、児童クラブの中で多目的に過ごせる環境にしたいと考えています。また、図書コーナーの整備も検討しています。

問 手洗い場を複数箇所に設置するよう整備を。(高野匠美)

答 教育総務課 手洗い場の場所等について再検討します。

問 子どもたちの過ごし方について、動と静が保てる空間を。(宇佐神幸二)

答 教育総務課 防音対策について再検討することに加え、運用の面ではしっかりとルール作りをしてもらい対応します。

総務文教常任委員会

総務文教常任委員会が調査した主な事業について報告します。

- 議事事務局
- 生涯学習課
- 教育総務課
- 住民課
- 出納室
- 税務課
- 企画課
- 総務課
- 〔所管課〕



※常任委員会とは①

本会議前に議案などを事前に審査したり、各課の事務の執行状況などを調査する場です。

◀ 今後の行政区の在り方の検討は ▶

Q 行政区長会において、今後の行政区の在り方や新たな編成などの話はあるか。

A 現状、新たな編成等の話はありません。今後の行政区の在り方について、まずは行政区長会の役員の方々と意見交換をしていく考えです。 【総務課】

◀ 交流人口拡大のための体験ツアーについて ▶

Q どのような形でPRしているのか。また、各課で連携を。

A 8月6日に実施したツアーは、仙台エリアで発行しているフリーペーパーの読者を対象に募集し、400名を超える応募の中から23名の方にご参加いただきました。また、同日にとみおかマルシェやわんぱくパーク夏祭りを開催するなど、複数の課が連携して行いました。引き続きどのような内容のツアーを行うことが地域の魅力発信につながるかを継続的に検討するとともに、今後も各課で日程調整や事業内容等を組み合わせながら、町のPRを進めます。



説明を受けるツアー参加者



【企画課】

◀ 放課後児童クラブの対象は ▶

Q 対象の学年と、子どもたちへのかかわり方について。

A 対象は小学1年生から6年生です。子どもたちへのかかわり方として、自主性を育む観点から、基準を決めて自分たちで考えて、やりたいことをやらせてみることにしています。今日は何をするかを自分で決めるようにしていることで、子どもたちからは「楽しかった」という言葉が聞かれています。



放課後児童クラブ(旧富岡第二小体育館)での様子

【教育総務課】

◀ 納税方法の拡充を ▶

Q スマホ収納の手数料は。また、対応するアプリは今後増えるのか。

A 基本的にコンビニ収納と同様で、手数料は町が負担するためかかりません。アプリの種類について、増える場合は町広報誌やホームページ等でお知らせしていきます。



【税務課】

◀ 総合体育館の改修工事について ▶

Q 3月の地震により被災した総合体育館の改修工事の内容と、同様の地震が起こった際の再発防止対策は。

A 4月の臨時補正で基本設計と耐震診断を行い、今後は実施設計という運びです。改修設計から来年度の工事については廃炉交付金を原資にして基金を積み上げ、設計と耐震補強工事を行い長寿命化を図ります。今後予定する実施設計含め、今後は損傷が起こらないような補強のしかたを進めたいと考えます。



3月の地震で損傷を受けた総合体育館(当面の間 利用不可)



【生涯学習課】

◀ 記録誌の作成について ▶

Q 小良ヶ浜行政区の記録誌を作成したと伺ったが、どのようなものか。また、他の行政区からも希望があれば対応を。

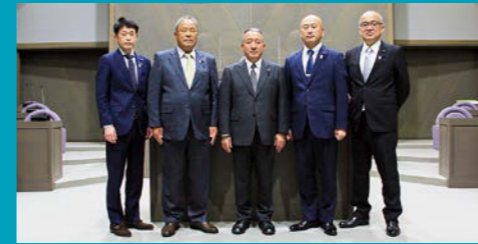
A 一昨年から小良ヶ浜行政区の皆さんにご協力をいただき、今年度完成したところです。小良ヶ浜の皆さんからのお話や、残っている文献、地理的なことをまとめました。行政区の中から集まった写真も多く掲載しており、懐かしく感じてもらえるものと思います。とみおかアーカイブ・ミュージアムにおいて販売されていますので、多くの方に見てもらいたい考えです。また、行政区から提案があった際には、ご相談させていただきます。

【生涯学習課】

産業厚生常任委員会

産業厚生常任委員会が調査した主な事業について報告します。

- 健康づくり課
 - 福祉課
 - 郡山支所
 - いわき支所
 - 生活環境課
 - 農業委員会
 - 都市整備課
 - 産業振興課
- 【所管課】



※常任委員会とは②

全議員が必ずどちらかの常任委員会に所属します。行政視察や事業の現地視察も実施します。

＜各種橋梁の管理について＞

Q 道路橋梁管理事業において、完成して間もない汐橋と夜ノ森駅の東西自由通路の定期点検がある。町内の橋梁の点検周期は。

A 点検の周期は、まずは共用を開始して2年で点検をすることになっています。その他、基本的な周期は5年に1度となっています。



令和3年5月共用の汐(うしお)橋



令和2年11月共用の夜ノ森駅東西自由通路

【都市整備課】

＜街路樹保全について＞

Q 害虫駆除の薬剤散布の範囲は。

A 基本的に町道等の街路樹管理として、桜の木への散布となります。

【都市整備課】

＜出張窓口について＞

Q 業務内容は。

A 大玉村と三春町においての出張窓口となっており、住民票や税証明等については即日発行できる体制づくりをしています。県の復興住宅の家賃更新手続きがこの時期にあることから、算定をするための証明書の発行なども行っています。高齢者が多いこともあり、年に数回実施しています。また、その場で発行できないものは後日郵送等で対応しています。



【郡山支所】

＜路線バスについて＞

Q 台数や路線の拡充を求める声があるが、検討は。

A 路線バスは、基本的には民間努力によって運行されており、現状では路線を増やすことは難しく、デマンドバスやタクシー等も利用していただきたいと考えます。公共路線の維持を優先として、小型バス化などで利便性の向上が図れるか、事業者と検討していきます。

【産業振興課】



運行中の路線バス

＜稚魚放流後について＞

Q 富岡川に稚魚が放流されたアユ、ヤマメ、イワナ、ウグイについて解禁しないと決定されたが、その後の調査はされているのか。

A 稚魚放流後の富岡川の内水面資源としての保全、監視については、富岡川漁業協同組合の監視員が対応しています。また、解禁に向けたモニタリング活動は、漁協のほか町も県から許可を得て行っています。

【産業振興課】

＜防災事業について＞

Q 町内小中学校の教員を対象にした避難所開設訓練の内容は。また、避難所としての考え方は。

A 災害の規模にもよりますが、町の職員の到着を待つまでに、教職員で町民の避難受け入れの手伝いができないかという声もあり、町職員の到着前に受け入れができるよう受付の用紙やコロナの発熱の確認、教室の使い方として各種高齢者や妊婦さんなど、分散して受け入れる流れを確認した訓練を行いました。現在町としては6か所の公共施設を指定避難所としており、災害の規模に応じて学びの森から順番に開設する考えです。



受付のシミュレーション



プライバシー確保のため段ボールにより壁を作成

【生活環境課】

行動計画に基づく主な対策の進捗状況

●安全対策について

- IAEA(国際原子力機関)により、国際的な安全基準に基づいて海洋放出に係る安全性を徹底的に評価し、発信
- 海域環境モニタリングの強化、拡充
- 東京電力による海洋生物の飼育試験
 - ・本年3月から発電所周辺の海水を使ってヒラメの飼育を開始
 - ・本年9月頃から海水で希釈したALPS処理水での飼育試験を開始予定

令和4年8月1日開催の全員協議会において、内閣府原子力災害対策本部現地事務所より説明を受けました。



内閣府による説明

●国民・国際社会の理解醸成について

ALPS処理水の科学的根拠に基づく理解醸成

- ①広範囲を網羅するマス広報
 - ・地域、年代、関心の有無等に関わらず、幅広い方が日常生活の中で情報に触れることができる環境の整備
- ②現地に足を運んでのコミュニケーション
 - ・地元を中心に直接的なコミュニケーションを実施
- ③第三者による厳しいチェック
 - ・IAEAによる厳しいチェックと、分かりやすく、かつ透明性の高い結果の発信

福島県およびその近隣県の魅力の発信

- ①一般消費者に対する魅力の発信
 - ・地元の産品や地域そのものの魅力を発信し、ファンを増やす
- ②全国での産品の取り扱い増を目指す販促
 - ・地元事業者見本市、フードショーへの参加サポート等を通じた直接的な販促活動
- ③交流人口の拡大に向けた取組
 - ・交流人口の拡大に向けた、観光コンテンツの磨き上げや新規ツアーの造成

●風評対策について

- 水産業をはじめとする各産業への支援拡充
 - ・水産物の一時買取、保管、販路拡大等のための基金
 - ・販路拡大等の支援策のひとつとして、販促イベント等を開催するなど
- 将来技術(トリチウム分離、汚染水発生抑制等)の継続的な追及



廃炉・汚染水・処理水対策ポータルサイトはこちらから



● 事業者への支援や、その説明は。(宇佐神幸)

● 販路開拓や風評払しょくのための事業が実施隊により行われています。また、水産業者等、様々な事業者に対して対策予算等の説明を行っています。



● 福島第一の放水立抗部分に津波が到達した際の対応は。また、緊急遮断弁を設置する箇所が低いのでは。(遠藤一善)

● 現在、津波については警報・注意報が発せられるなど事前に予見できることから、津波到達前に放水を停止する対応をとります。また、緊急遮断弁については更に13メートル盤にも別の緊急遮断弁を設置し、周辺に防潮堤を設け対策を講じます。放水停止にあたって

は緊急遮断弁に加え、高台に存在する電動弁についても閉じる運用を定め、実施計画で認可されたところとです。

● 処理水放出に伴う立抗と、沖合1kmの海上付近の掘削工事が既に始まっており、処理水放出が決まっているように見える。環境整備工事は事前了解に辿りついた段階で行うべきなのは。(渡辺正道)

● 現在は現状回復ができる範囲での事前工事であり、本格工事につきましては、規制委員会の認可と自治体の事前了解を得た後に開始します。また、併せて漁業関係者等の関係者の理解を得る努力を最大限していきます。

● 対策予算をとっているが、まずは風評被害額のシミュレーションやそれによる補償のマニュアルを表明することが必要では。(高橋美)

● 賠償の基準につきましては、現在、関係団体と調整している段階です。

● IAEAにおける輸入規制がある各国の専門家からの意見をオープンに。(安藤止純)

● 何十年もかけて放出することによる魚への蓄積や環境への影響等について、トリチウム以外の核種の危険性も含めた研究を進めることにより、国民や近隣各国からの安全性の理解につながるのでは。(佐藤教宏)

● 発電所の運転開始当初から様々な環境影響調査を行っています。今回、海洋モニタリングの測定頻度や範囲を増やし、また、発電所の事故後に出る主要な核種についても年4回の測定をします。これらを測り、人体への影響に関してもしっかり調べるよう、追加しました。

● 国では、海洋放出によってどのような社会的影響が出ると予測しているか。(高野匠美)

● 風評被害が起こる可能性について、万が一風評被害が起こった場合は基金と賠償により対応していきますが、まずは風評被害が起これらぬよう政府一丸となり最大限努力をします。民間企業の第三者、IAEA、日本原子力研究開発機構などに処理水を測定してもらい、安全性をしっかりと確保します。

● 専門家に対する外部からのプレッシャーを避けるため、どの専門家がどういった発言をしたかといったところは公表されていません。また、専門家は各国の代表としての位置づけではないため、各国の規制撤廃とすぐに結びついてはいけません。

● 浜通りの沿岸は陸地に向かう海流。拡散シミュレーションどおりとはならないのではないか。(渡辺三男)

● 平成26年から令和2年までの実際の気象・海象データが用いられており、海流なども綿密に再現されていると考えます。なお、シミュレーション結果と実際の減少に大きな差異が生じていないことを、環境モニタリングにて把握していきます。



富岡町の沿岸

現地視察レポート

～福島第一原子力発電所～



令和4年7月21日に原子力発電所等に関する特別委員会において東京電力福島第一原子力発電所の現地視察を実施しました。

【視察場所】
・福島第一原子力発電所 構内

多核種除去設備をはじめ、1～4号機建屋外観を臨むエリアやサブドレン浄化設備、処理水放水立坑予定場所等を視察しました。



1号機原子炉建屋および2020年に解体された排気筒



5・6号機海側ALPS処理水放水立坑予定地



ALPS処理水のサンプルを用いての説明

議員が切り込む!! 質疑応答

【現地視察に関する質問】

問 海洋放出をする際の緊急遮断弁の設置場所が低いのではないかと。(遠藤一善)

答 東京電力
希釈前の水をなるべく立坑側に流さないことを目的としているため立坑に近い部分と、津波対策として海抜11・5メートル部分に電源盤も含め防潮堤を設けて構築しています。

問 サブドレンで組み上げた地下水は処理をして海洋に放出しているとあったがALPSで処理をする汚染水のように62核種といったものが含まれている水なのか。(佐藤教弘)

答 東京電力
直接デブリに触れた汚染水とは違い、建屋周りの地下水をくみ上げているものですが、降下物による複数の種類の放射性物質が含まれています。浄化装置を通じてしっかりと低減し、濃度が運用目標値を下回っていることを確認してから排水しており、環境に配慮しています。

問 海洋放出を行う海域は、沖から陸地側に押してくる潮の流れが多いことを考えると、1kmへの放出では5年・10年の放出により、希釈して流していてもトリ

チウムはそのままの状態であることから将来的に影響が出てくるのではないかと。(渡辺三男)

答 東京電力
季節を通じて南北方向によく拡散していくという調査やシミュレーションが得られていますので、時間が経つことで蓄積し、沿岸側のトリチウム濃度が高くなる状況にはないと考えられます。なお、これまでの海水サンプリングの頻度や採取ポイント、あるいは検出限界値を下げたりしながら強化した計画を本年4月から始めているところですので、その中で監視してまいります。

【1号機格納容器内部調査に関する質問】

問 水位低下の要因は。(安藤正純)

答 東京電力
カメラ調査で確認しているところですが、直接の原因は分かっているのが現状です。新たな漏えい箇所や状態が確認されましたら速やかに公表し、丁寧にご説明をします。

問 2号機、3号機における同調査の実施状況は。(堀本典明)

答 東京電力
各号機で内部の状況が違うこともあり現状実施していませんが、今後しっかりと検討していく考えです。

よく聞き よく考え 伝えあおう 自分の思い

～学校訪問～



令和4年7月12日に総務文教常任委員会において、学校訪問を実施しました。本年度は職務のための出席者として産業厚生常任委員会の委員が随行。

【訪問場所】
・放課後児童クラブ(旧富岡第二小体育館)
⇒令和4年春休みより開始
・富岡小中学校

○小学校 35名・中学校 21名
(令和4年5月1日時点)
今年度、『富岡小学校』『富岡中学校』にそれぞれ統合されました。
また、給食調理場が開設されたことで、自校での給食提供が可能となりました。



子どもたちがのびのびと走り回れる広い体育館



施設外の安全対策等についても説明を受けました



施設整備については、町も議会も子どもたちの安全を第一に考えます

議員が切り込む!! 質疑応答

問 体育館の照明のLED化の計画は。(遠藤一善)

答 教育総務課長
今年度実施設計、来年度工事の予定です。

問 見学スペースのある給食調理場など、素晴らしい施設である。子育て世帯へ向けて町としても更にPRを。(高野匠美)

答 高野副町長
移住・定住へのアプローチとして、更にPRできるように考えます。

問 プールの水質調査や水泳の授業の際のコロナ対策は。(安藤正純)

答 学校長
業者によるプール掃除の際と年度の間で水質調査を行います。また、授業は使用学年や時間を分けることにより人数を抑えること等で感染症への対策をします。

給食調理場は外に見学スペースがあり、調理風景を見ることが可能です

いただきます

給食の試食をしました!

富岡町産タマネギは6月～8月ほぼ毎日使用

調理員さんの手ごねハンバーグは子どもたちにも大人気!

富岡町産コシヒカリを通年使用

おみそ汁は、具材によってお出汁も変えています

ごはん・牛乳・手作りハンバーグおろしたまねぎソース・フレンチサラダ・夏野菜のみそ汁
(エネルギー829kcal・たんぱく質31.8g・脂質24.4g・食塩相当量3.8g)

復興へのあゆみ

Step.26

様々なイベント等で、町民の方から多く聞かれるのは『富岡町から遠く離れた土地で長く避難生活を送っていると、富岡町が今どうなっているのかわからない』という声です。皆さまの先が見えない不安を少しでも解消できるように、富岡町の現状をお伝えします。

2022. 7.27 ピザ作り教室

教育委員会による富岡町学校協働活動の一環として、ピザ作り教室が開催されました。



2022. 9.16 ダイヤモンド婚・金婚 記念表彰

新型コロナウイルス感染症予防対策により、令和4年度の敬老会も中止となりましたが、町役場2階正庁において表彰のみが執り行われ、ダイヤモンド婚4組中1組、金婚36組中9組のご夫婦が来庁され表彰を受けました。



2022. 9.21 秋の全国交通安全運動 出発式

9月21日から30日までの10日間で実施された「令和4年秋の全国交通安全運動」の出発式が、気持ちのいい秋晴れの下、さくらモールとみおか駐車場において行われました。



【ダスト飛散の防止対策について】



渡辺正道議員

1号機の原子炉建屋に大型カバーを設置する作業において、万が一のダスト飛散に備え噴霧装置の設置をすることだが、飛散防止効果は。

小さいがれきの撤去は終わっており、これまでダストの飛散は確認されていませんが、これまでのクレーンを用いた散水方法に比べ、今回設置した噴霧装置は稼働が速やかになることから、万が一に備えた装置となります。



東京電力HD(株)

【風評を抑える工夫を要望】



東京電力HD(株)

1F視察を受け入れた際、視察者の反応は。また、今後風評を抑えるためのPR方法等の工夫は。

多核種除去設備(以降ALPS)の建物の周囲をご案内したり、処理水のサンプリングボトルを用いての説明、放水トンネル掘削現場などを、ご案内しています。現場で実際のものをご覧いただくと、イメージが湧いて分かりやすい等の声をいただいています。冊子の配布やホームページ掲載などの情報発信ばかりではなく、多くの方にご視察など現場にお越しただけのよう取り組んでまいります。



宇佐神幸一議員

【配管の水に含まれる核種は】



遠藤一善議員

移送設備の配管内の処理水に含まれる核種は確認されているか。また、何が含まれているのか。

基本的に上流にある測定確認用設備からの水が移送されるものです。ALPSの除去対象となっている62核種及び炭素14という核種が、国の排水基準を下回っていることを確認した水となります。

なお、トリチウムにつきましてはALPSでの除去が現在できませんので、希釈する前の濃度のもののご理解ください。



東京電力HD(株)

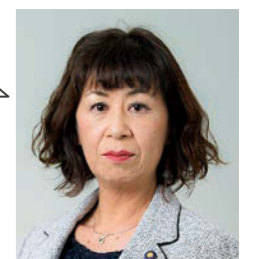
【計画の詳細な説明を求める】



東京電力HD(株)

ロボットアームを使用する2号機の燃料デブリ試験的取り出しについて報告があったが、取り出す燃料デブリの内容や工程などの計画が出てこない。

デブリ試験的取り出しにつきましては数グラム、耳かき一杯分程度を取り出し、発電所外の分析施設において性状等を分析します。また、今回の試験的のごく少量のところから、小規模取り出しというところまで拡大していく検討をしています。具体的な検討がまとまった段階でご報告させていただきたい考えです



高野匠美議員

ちよとと

みなさまの声

Q. 4月に事務局長に就任されました とみおかプラスの運営にあたって、感想や今後の展望などお聞かせください。

A. 2022年4月から、海と桜並木、いくつもの蔵のある素敵な町、富岡に暮らし始め、とみおかプラスで勤務しています。高校・大学・社会人と続けてきたラグビーのスピリット「One For All. All For One.」を大切にして、町の賑わいづくりのために、マーケティング、コミュニケーション業界で得た経験を活かしてまいります。気軽に、とみプラのオフィス(旧竹村写真館)にお立ち寄りください。お話ししましょう。

Q. とみおかプラスの活動について、PRをお願いします。

A. とみおかプラスは2017年1月に設立され、これまで町の賑わいづくり、人づくりに力を発揮してきました。時代のニーズに合わせ、役割は変わりますが、これまで培ったネットワーク、ノウハウを活かして、サポータークラブの運営、移住定住の促進、町の補助制度の相談受付窓口、富岡産米のお酒造りなど、これからも、町の賑わいづくり、人々のくらしづくりを広げていきます。もっと動け! もっと頑張れ! と、「とみプラ」へのエールをお願いいたします。



とみおかプラスのHPは
こちらからだっぴ♪



一般社団法人 とみおかプラス
香中 峰秋(かなか みねあき)事務局長
埼玉県出身

【経歴】

- 1980年 埼玉県立熊谷高校卒
- 1984年 筑波大学体育専門学群
スポーツ療養学専攻卒
- 1984年 株式会社博報堂入社
- 2014年 株式会社東北博報堂勤務
(2020年まで郡山、仙台、盛岡に勤務)
- 2022年 4月より富岡町にて勤務開始

議会を傍聴しませんか?

- 12月定例会は、14日(水)～16日(金)の会期で開催する予定です。
 - 所定の用紙に、住所(市町村名まで)・氏名・性別・年齢を記入いただくだけで、どなたでも傍聴することができます。
 - 審議日程など、詳細については議会事務局までお問い合わせください。
- 議会事務局 ☎0240-22-2111(代表)



発行責任者
議長 高橋 実

議会広報特別委員会
委員長 高野匠美
副委員長 佐藤啓憲
委員 佐藤教宏
委員 堀本典明

新型コロナウイルスが初めて確認されてから3年近くになりますが、徐々に日常を取り戻しつつあります。町内においても、シドニーオリピック金メダリストの高橋尚子さんを迎え、3年ぶりとなった『とみおか復興ロードレース大会』や『ピザ作り教室』などが開催され、人生を豊かにしてくれる各種事業が、中止にならず実施されるまでになりました。明るい兆しが見えてきましたが、この明かりを消すことなく一歩一歩着実に前に進んでいきましょう。引き続き議会報では、議会活動に加え富岡町の現状もお伝えいたします。皆さまに楽しんでいただける議会報づくりを心がけておりますので、ご意見ご要望等ありましたら是非お寄せください。

(佐藤 教宏)

編集後記

FSC® の基準に従って認証され、適切に管理された森からの木材を含んだ用紙を使用して印刷しています。

